

2026年3月26日

株式会社小田急エージェンシー

## 新宿駅「仮囲いプロジェクト」第2弾の掲出を 3月26日から開始しました

株式会社小田急エージェンシー（本社：東京都新宿区、取締役社長：山口 淳、以下小田急エージェンシー）は、人と街をつなぎ、新宿の魅力や各種情報を新宿エリアの企業・団体と連携しながら発信する「仮囲いプロジェクト」の第2弾の掲出を3月26日(木)より開始しました。※第1弾の詳細については[こちら](#)。

このプロジェクトは、無機質になりがちな工事用仮囲いの盤面を活用し、「新宿の『つづき』は、もっとおもしろい。」と題した情報を新宿の企業・団体と連携しながら制作・掲出します。来街者に対して新宿の魅力・情報をお届けすることを目的に、小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、社長：鈴木 滋）の協力のもと小田急エージェンシーが自主活動として実施しているものです。

今回の第2弾では新宿の歴史・文化・産業・人材などの多様な資源を活かし、観光事業の振興活動を行う一般社団法人新宿観光振興協会（理事長：杉江 俊彦、以下新宿観光振興協会）と、今年50周年を迎えたSOMPO美術館の運営を行う公益財団法人SOMPO美術財団（館長：西脇 芳和、以下SOMPO美術財団）と連携した情報で、「新宿で変わりゆくものと変わらないもの」をテーマに、2026年3月26日（木）から掲出を開始しました。新宿 plus vol.22「SHINJUKU LOCAL」で掲載されたBAR ロベリヤ（オーナー：原島 玲子）と、「美術・新宿・ココロの再発見。」を掲げ開館50周年プロジェクトを行うSOMPO美術館の、これまでとこれからの歩みを取り上げています。



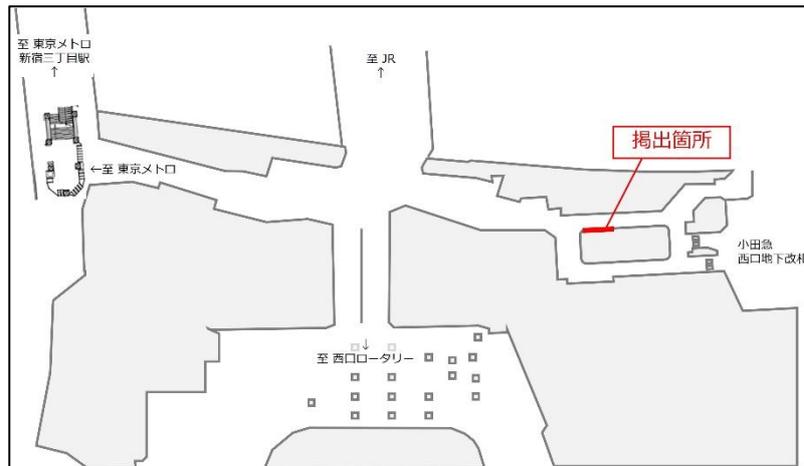
(掲出イメージ)

今後も小田急エージェンシーは新宿に根差した地域共創企業として、地域の企業・団体と連携しながら、新宿の価値向上につながる取り組みを進めてまいります。

「仮囲いプロジェクト」第2弾の概要は下記のとおりです。

## 記

1. 掲出期間：【第2弾】2026年3月26日（木）～5月下旬予定  
※掲出期間は工事などの状況により変更となる場合がございます。
2. 掲出場所：小田急線新宿駅西口地下改札口付近



3. 掲出内容：①新宿観光振興協会「新宿 plus vol.22『SHINJUKU LOCAL／BAR ロベリヤ オーナー 原島玲子』」  
②SOMPO 美術財団「SOMPO 美術館」  
※SOMPO 美術財団へのインタビューは、Think!!Shinjuku HP に掲載  
【掲載先】<https://thinkshinjuku.com/interview/649/>
4. 協力：①媒体提供：小田急電鉄株式会社  
②情報提供：新宿観光振興協会  
SOMPO 美術財団

以上

(参考)

● 一般社団法人新宿観光振興協会について

一般社団法人新宿観光振興協会は、新宿のまちが持つ、歴史・文化・産業・人材など、多様な資源を活かし、観光事業の振興を図るとともに、ひと、まち、文化の交流によるふれあいのあるまちを創造することで、地域経済の活性化に寄与することを目的として活動しています。

● 公益財団法人 SOMPO 美術財団について

公益財団法人 SOMPO 美術財団は、絵画、彫刻等の美術作品を収集し、保存するとともに広く一般の鑑賞に供し、併せて新進の創作を奨励し、もって我が国芸術文化の振興と国民生活の向上に寄与することを目的に、SOMPO美術館を運営し、展覧会事業や美術家の支援・表彰、美術鑑賞の教育普及事業を実施しています。

■ 本資料に関するお問合せ ■

株式会社小田急エージェンシー  
新宿エリア事業推進室 担当：中江・八木  
press@odakyu-ag.co.jp